

壁面扉はブレースのない面に取り付けてください。ブレースのある面に取り付けたい場合は本体の組立説明書を参照し、ブレースの位置を変更してください。(ブレースを省くことは強度上できません。)

●梱包別部品一覧表

壁面扉の組み立てには、下記部品が必要です。梱包内の部品数を確認の上、組立順序にしたがって組み立ててください。

●SNR-4M・T・G共通部材	
梱包番号 B9-6103	梱包番号 B9-6421
部 品 名 数	部 品 名 数
壁面扉枠左H 1	壁面扉正面パネルH 1
壁面扉枠右H 1	壁面扉中H(K-4) 1
壁面扉鴨居(K-4) 1	壁面扉前H(K-4) 1
壁面扉敷居(K-4) 1	
M6ボルト 25	梱包番号 B9-5804
ネジ板 13	部 品 名 数
ネジ板C4 4	扉上水切板(K-4) 1
戸車調整用ボルト 2	扉上補強(K-4) 1
M6×20樹脂ボルト 2	
M6樹脂ワッシャー 2	
φ4×13テクスネジ 3	
ボルトキャップ(NIGR) 8	
組立説明書 1	

●SNR-4M	
梱包番号 B9-6505	梱包番号 B9-6229
部 品 名 数	部 品 名 数
扉枠支柱左M 1	扉上壁パネルM 4
扉枠支柱右M 1	扉上パネルカバーM 1

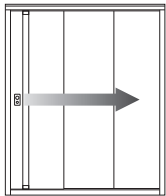
●SNR-4T	
梱包番号 B9-6503	梱包番号 B9-6221
部 品 名 数	部 品 名 数
扉枠支柱左T 1	扉上壁パネルT 4
扉枠支柱右T 1	扉上パネルカバーT 1

●SNR-4G	
梱包番号 B9-6504	梱包番号 B9-6224
部 品 名 数	部 品 名 数
扉枠支柱左G 1	扉上壁パネルG 4
扉枠支柱右G 1	扉上パネルカバーG 1

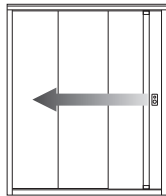
(注) 部品袋に入ってるボルト・ネジ板は標準型パネル仕様の不足分です。

■扉を逆開きにする方法

扉は標準(工場出荷時)では、左開きにセットされています。



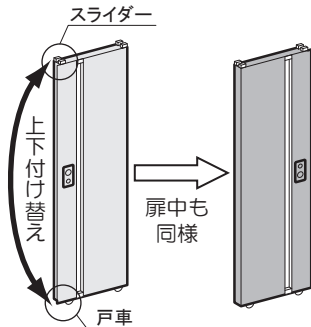
左開き(標準)



※右開き(下記参照)

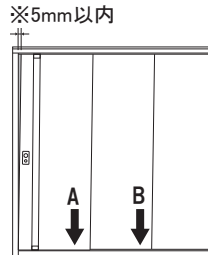
右開きにする場合は、

- 「5」で敷居のネジ止めを反対にします。
- 「8」で正面パネルを反対に取り付けます。
- 「10」で扉の戸車とスライダを上下付け替え、扉を上下逆にして取り付けます。(右図参照)

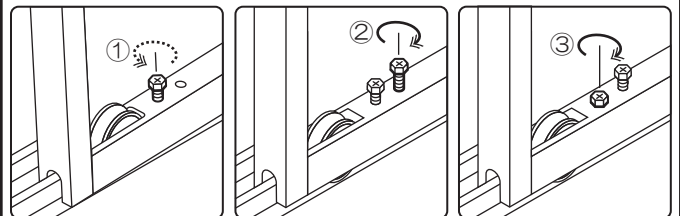


★戸当たり調整

扉を閉めて下図のようにスキマが出来た場合は、A・B部の戸車を①②③の手順で調整してください。



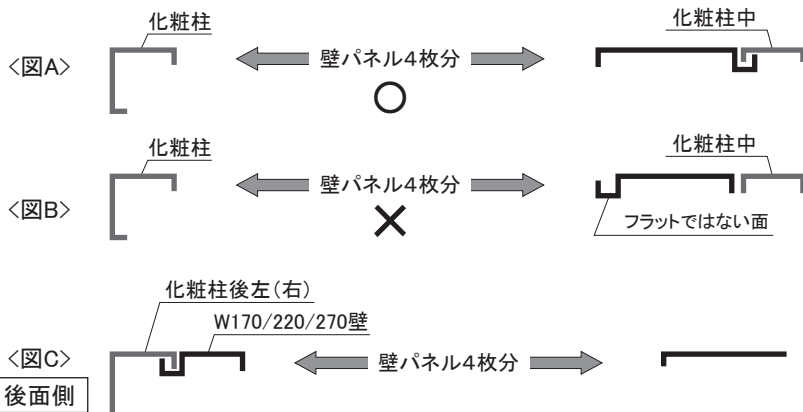
※5mm以上のスキマや下記の要領で調整できない時は、土台の水平を直してください。



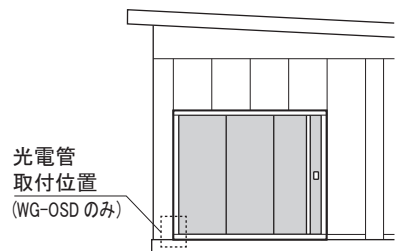
- 戸車を固定しているボルトを4~5回転ゆるめる。
- 部品箱内の戸車調整用のボルトで戸当たりを調整する。
- 最初にゆるめたボルトを締め付ける。

■取付上の注意

- 壁パネルと壁パネル、化粧柱と壁パネルとの間に壁面扉を取り付ける場合は、必ず図Aのように壁パネルのフラットな面が内側に来るようにしてください。図Bのような場合は取り付けできません。
- 後面は化粧柱の横に取り付けできませんが、W170/220/270壁の横には取り付け可能です。(図C参照)
- WG-OSD(オーバースライド)の化粧柱前寄りに壁面扉を付ける場合は、正面パネルを化粧柱前寄りになるように取り付けてください。(図D参照)



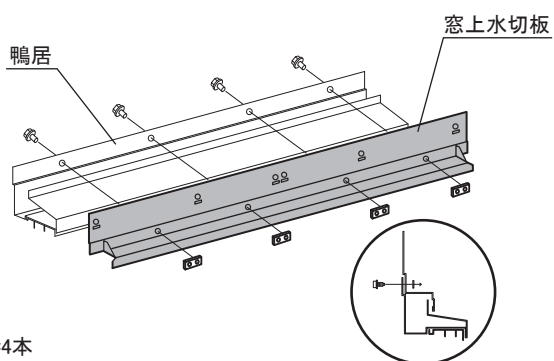
〈図D〉 WG-OSD(オーバースライド)の化粧柱前寄りに壁面扉を取り付ける場合



正面パネルを化粧柱前寄りになるようにしてください。(開口部の足元に光电管が設置されるため)

1.扉上水切板取付

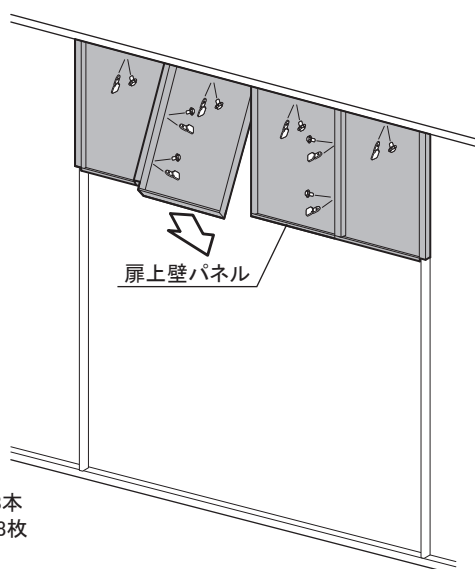
鴨居に扉上水切板をネジ板Cで取り付けます。



ボルト=4本
ネジ板C=4枚

2.扉上壁パネル取付

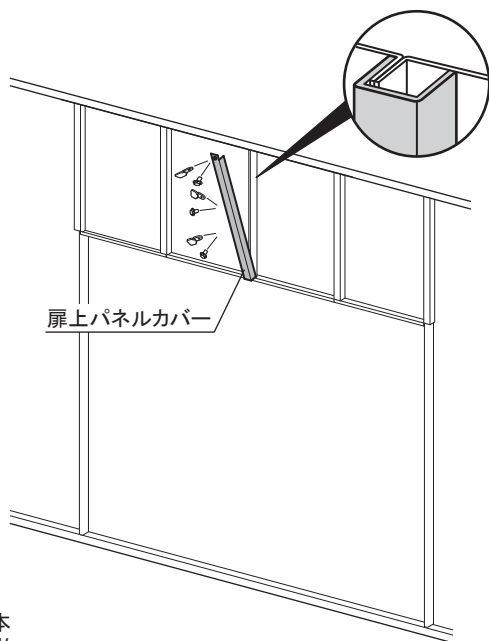
扉上壁パネルをボルトとネジ板で取り付けます。



ボルト=8本
ネジ板=8枚

3.扉上パネルカバー取付

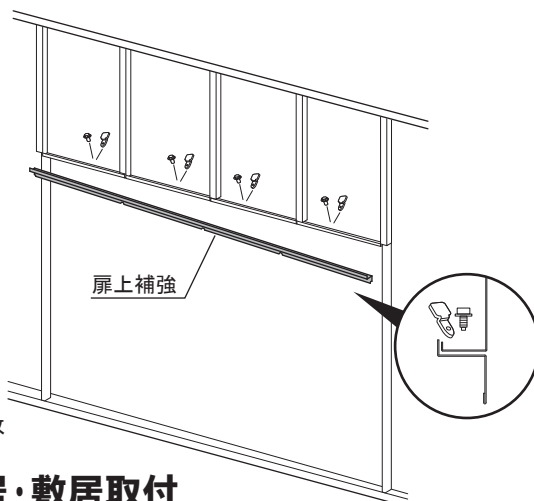
扉上パネルカバーは図のように取り付けてください。



ボルト=3本
ネジ板=3枚

4.扉上補強取付

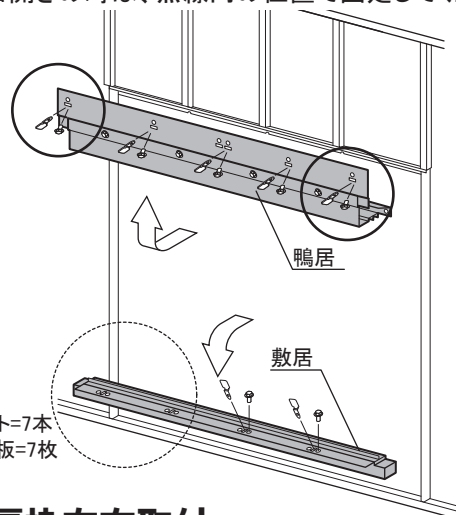
窓上補強をボルトとネジ板で取り付けます。



ボルト=4本
ネジ板=4枚

5.鴨居・敷居取付

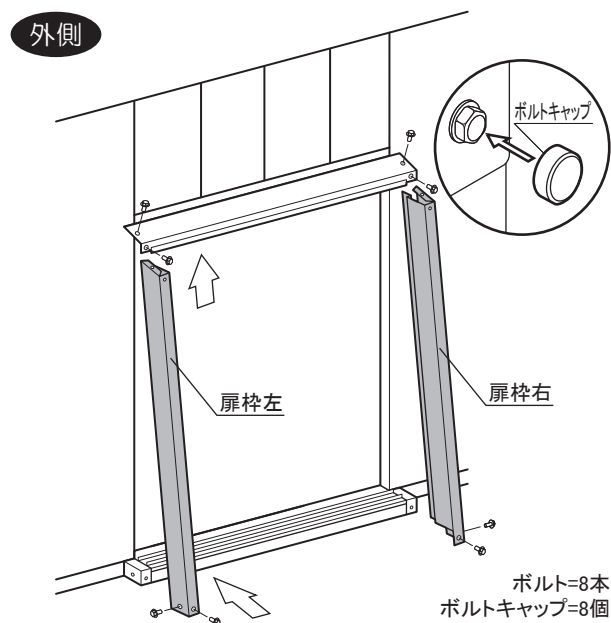
扉上壁パネルに鴨居をボルトとネジ板で取り付け、敷居を土台にボルトとネジ板で取り付けます。
※Mタイプの時、実線内のボルトとネジ板はまだとめないでください。(扉枠支柱と共締めします)
※右開きの時は、点線内の位置で固定してください。



ボルト=7本
ネジ板=7枚

6.扉枠左右取付

扉枠左、扉枠右を鴨居と敷居にボルトで取り付け、ボルトキャップを取り付けます。

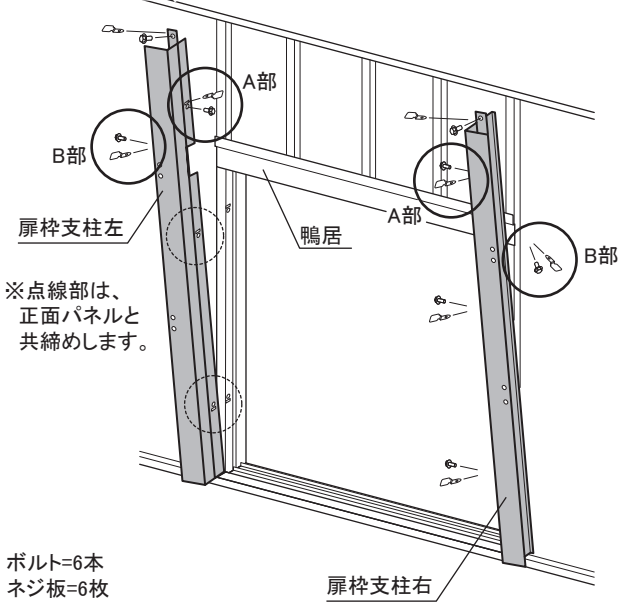


外側

ボルト=8本
ボルトキャップ=8個

7.扉枠支柱左右取付

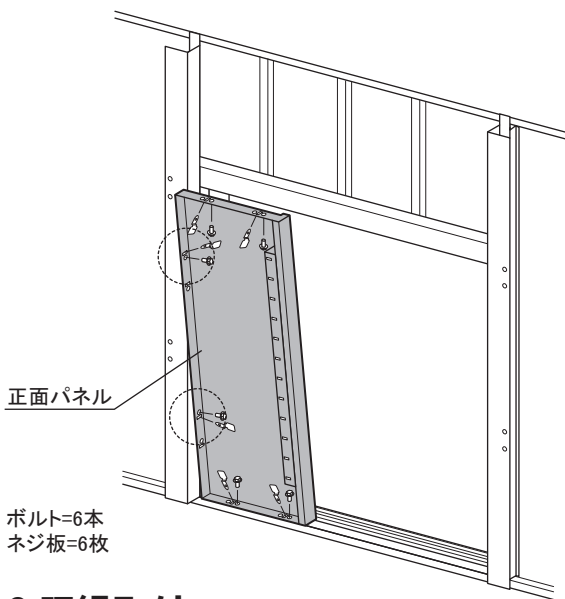
扉枠支柱左右をボルトとネジ板で取り付けます。
 ※Mタイプの時、A部のボルトとネジ板はありませんが、
 B部を鴨居と共締めしてください。



ボルト=6本
 ネジ板=6枚

8.正面パネル取付

正面パネルをボルトとネジ板で取り付けます。
 ※右開きの時は、正面パネルを右側に取り付けます。



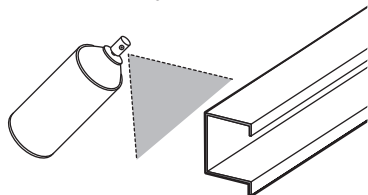
ボルト=6本
 ネジ板=6枚

9.胴縁取付

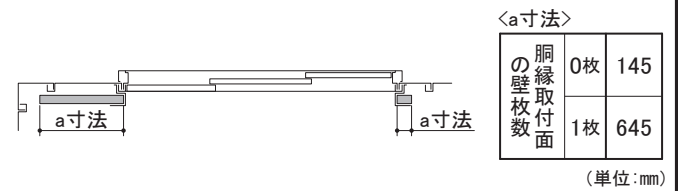
胴縁は、壁面扉の端から柱までの間に取り付けます。
 ①～②の取付位置に合った長さ(右上表参照)でカットし、
 扉枠支柱にテクスネジで取り付けてください。

※カット寸法は、-5mm以内で切ってください。

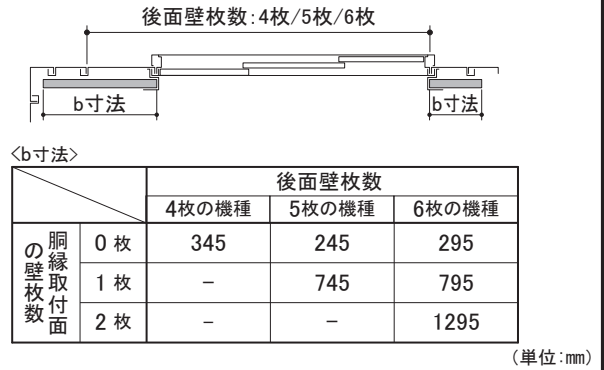
胴縁の切断はなるべく本体から離れた場所で行い、切粉
 はかならず除去してください。
 また切断面からはサビが発生しますので、必ず補修塗料
 でタッチアップしてください。



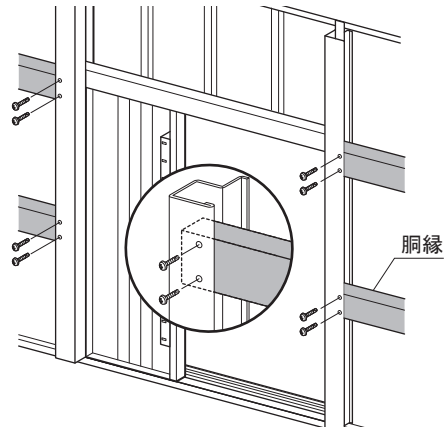
①側面に付ける時



②後面に付ける時



内側

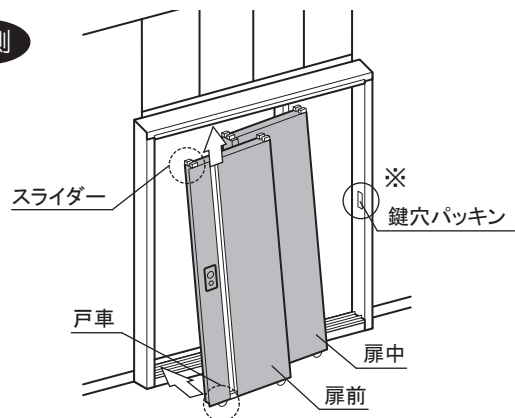


テクスネジ=8本

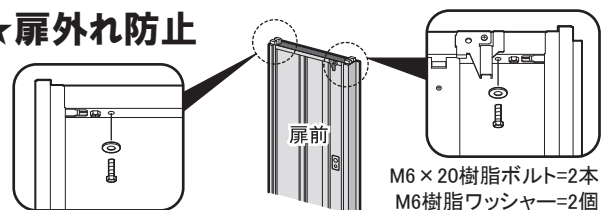
10.扉取付・完成

扉中・扉前の順にスライダを鴨居のレールに差し込み、
 戸車を敷居のレールにのせ扉をはめ込みます。
 ※右開きの時は、鍵穴パッキンを反対側に取り付けます。

外側



★扉外れ防止



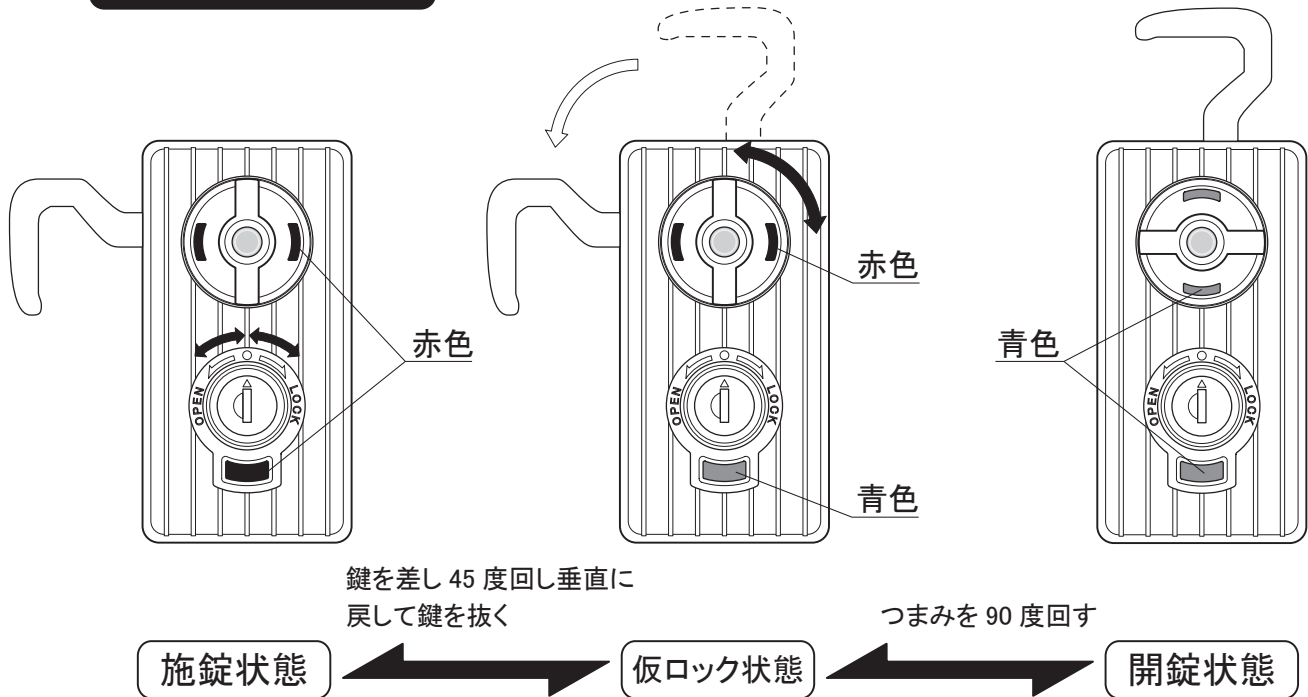
扉を取り付けた後、扉前の上部にあるスライダを止めているボルトの隣の穴に樹脂ボルトを左右2ヶ所止めます。
 ※扉を外す時はこのボルトをゆるめてください。

錠の操作方法

壁面扉 (SNR-4) の施錠・仮ロック操作について

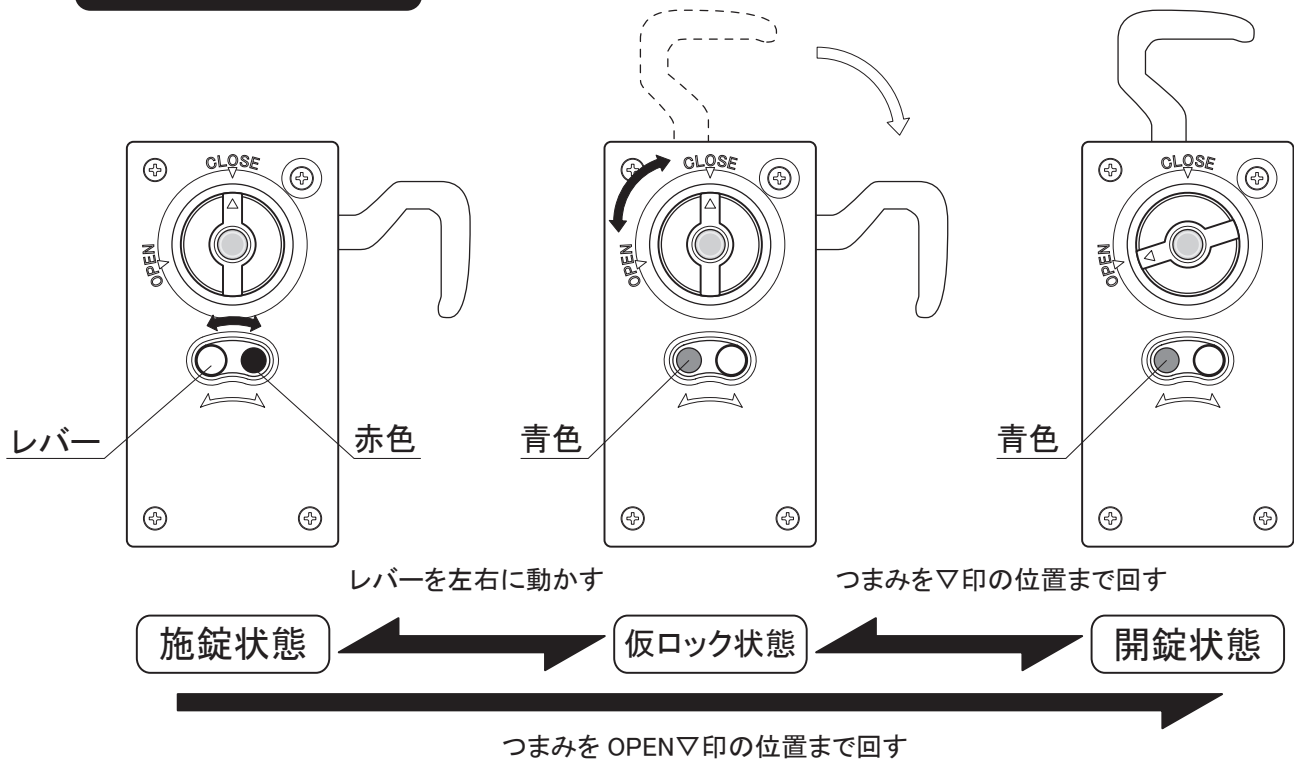
錠は鍵を使わずに、仮ロックできる機構が付いています。下記方法に従って施錠してください。

外側からの操作方法



⚠注意 仮ロック状態では鍵はかかっておりません。施錠の際は必ず鍵を使ってください。

内側からの操作方法



⚠注意 収納物が扉に倒れ込むなどして扉が開かなくなった場合、強引に開けようとすると扉が脱落し、ケガなどの原因となる恐れがありますのでご注意ください。